

# 教宣速報

第3号 2004年11月15日  
全損保日勤外勤支部 神戸分会

## 左手を腰に！

10月27日、支部は団交を開催し、この組織を労働組合として新会社に認知させるに至りました。このことは、新会社に片寄せされていく戸惑いや、先が見えない不安を感じつつ日々が経過していく中でも、新たなスタートとなるこの日が訪れることを胸に、一人ひとりの組合員が自らの意思を声にしてストをやりきり、一糸乱れることのない団結を貫き通したことによるものと確信します。

しかし、闘いはまだ緒についたばかりであり、残された課題もたやすいものではありません。むしろこれからが正念場であり、より一層の結束が求められます。私たちの近くには多くの仲間がいること、声を集めれば闘えることを力に、支部旗のもと、全体で一歩ずつ着実に前に進みたいと考えます。

この日が記念日として語り継がれることを祈念し、神戸分会は、ひとり一言をここに留めることとします。全国の組合員のみなさんこれからも頑張りましょう。

(T君) 私たちは、「外勤の声を届ける、外勤の要求を経営に反映させる」「自らのよって立つ場を確保する」この一点で、全損保にとどまりました。私たちのスタンスは、何ら変わっていません。これからも仲間を大切に、仕事・生活を守るために、全損保の旗のもと闘っていきます。

(O君) 全損保に残ったことが日々正しく思います。他労組の組合員は上司にすべてイエスマンです。全損保の組合員は主張すべきことは声を大にしています。これからが正念場です。全員で団結して共に闘いましょう。

(K君) 5月12日から当たり前が当たり前でない状態が続いていましたが、ようやく本来の組合の姿に戻ったと思います。これからが組合のスタートと考えますが、新会社となり相手が以前と違うので、組合役員を中心に全組合員がなお一層の団結力を発揮して行きたいと思います。また、全損保の財産を一刻も早く返還するよう求めます。

(T君) 組合がやっと認知されましたが、本当の闘いはこれです。その相手となる会社の組織図が全く判りません。どうなっているのでしょうか。

( B君 ) 自賠償のステッカーひとつ貰うのも、支社長の許可がいる始末です。いざ顧客のところに行くとも年数ちがいで二度手間になります。会社はなにを考えているのでしょうか。

( O君 ) 10月27日、労働組合として新会社に認知させたことを素直に喜びたいと思います。「行動管理シート」のスト権確立など全損保だからこそ闘えたと思います。これからひとり一人が職場で声を上げ、ひとつひとつ乗り越えましょう。

( A君 ) 全損保に残った我々全員の組合意識が高い事はすばらしいと思います。しかしながら労働者としての権利が多く奪われました。まずは東海労組と同等の権利を取ることだと考えます。

( U君 ) 1万5千人の中の175人、たった175人されど175人だと自負しています。これからが正念場、全損保の旗の下いっしょに頑張ってください。

( T君 ) ようやく10月27日に組合として認知され、我々の闘いが一つの節目を迎えました。ほんとうの我々の闘いが始まろうとしています。強い信念を持つことの重要性を再認識しています。

( Y君 ) 組織分裂と合併にともない職場・組合員間での意識のずれが懸念されます。あまり違いのない、早い機会に合わせをし、地道な活動をすることが求められます。「一人で五歩前進するよりも十人で一歩ずつ！」

( H君 ) とりあえず組合認知は喜ばしいことです。ただこれからが正念場であり、全損保日勤外勤支部の真価が問われます。ひとり一人が自分の現在、将来を見据えて懸命に生きましょう。

( U君 ) 合併をはさんで職場の雰囲気かわり、仕事がしづらい状況です。何とも言えない窮屈さを感じています。

( N君 ) あの日のビールは五臓六腑にしみこみました。閉ざされていた扉が開かれ、ようやく前に進むことができます。心をひとつにすれば道は開かれることを力に、これからも左手を腰に、みんなで踏ん張りましょう。

( E君 ) 会社に組合を認めさせやっと思息というのが正直な気持ちです。契約係社員全体の中でも少数組合であり、新会社全体から見れば極少組合です。これからの組合活動については全員が気持ちをひとつにして日々頑張るしかないと思います。

( K君 ) 職場に全く明るさがなく、人間関係のふれあいが無いように思います。合併から一ヶ月が過ぎました、今後どのようになるかが不安ですが、組合活動に力をそそぎ、ひとつひとつ払しょくしたいと思っています。

( H君 ) いろんなことについて東京海上のやり方で進んでいるため、旧日勤火災の人はとまどい苦労しておられると思います。私の支社もそのペースで進められていますが、これからも生き残るため、全損保で頑張っていきたいと思います。

以上